

熊本県産淡水魚類目録（第一版）

藤井法行^{1,2}，林田 創^{1,3}¹くまもと淡水魚類研究所，²熊本野生生物研究会，³（一財）九州環境管理協会

List of the freshwater fishes from Kumamoto Prefecture (1st edition)

Noriyuki Fujii^{1,2}, Hajime Hayashida^{1,3}¹Kumamoto Freshwater Fish Institute, ²Kumamoto Wildlife Society,³Kyushu Environmental Evaluation Association

キーワード：淡水魚，目録，熊本県，レッドデータブック，外来種

摘要

- 1 著者の藤井が 1975 年頃から行ってきた個人的な採集調査の記録や，過去にかかわった公的な調査等から得られた知見を整理し，さらに標本・文献等を調べた結果，2024 年 1 月までに，熊本県全体から 18 目 54 科 170 種・亜種の淡水魚類の生息が確認された。
- 2 生活型による内訳は，純淡水魚が 59 種，通し回遊魚が 23 種，汽水・海水魚が 83 種，生活型不詳が 5 種であった。
- 3 外来種は熊本県内で繁殖し，定着しているものだけを取り上げ，国外外来種が 14 種，国内外来種が 14 種であった。

はじめに

熊本県の西部は海に面し，北部，東部，南部は山地に囲まれている。北東部には世界有数のカルデラを持つ阿蘇山がある。北西部では熊本平野が有明海に，南西部では八代平野が八代海（不知火海）に面しており，南部には山地に囲まれた人吉盆地がある。

水系は，主要な一級河川として菊池川，白川，緑川，及び球磨川の 4 つがある。阿蘇を源とする菊池川・白川と，九州山地を源とする緑川が有明海に，球磨川が八代海に注いでいる。その他，県北では筑後川及び大野川が県境を越えて大分県方面へ，県東では五ヶ瀬川が宮崎県方面へ流れている（図 1）。

天草諸島の上島と下島には中小河川が多い。特に，黒潮の影響を受ける天草の西岸側は南方系の魚種が見られ

特異性が高い地域である。

著者の藤井が 1975 年頃から行ってきた個人的な現地調査の記録や，過去にかかわった公的な調査等から得られた知見を整理し，さらに文末に示す標本・文献等を調べた結果，2024 年 1 月までに，熊本県全体から 18 目 54 科 170 種・亜種の淡水魚類の生息が確認された。本目録では，熊本県レッドデータブック 2019 で「絶滅」として記載されている 3 種を含んだ上記 170 種・亜種を取り上げた。熊本県における主要な水系ごとの淡水魚類の確認状況を表 1 に示す。

生活型による内訳は，純淡水魚が 59 種，通し回遊魚が 23 種，汽水・海水魚が 83 種，生活型不詳が 5 種であった。

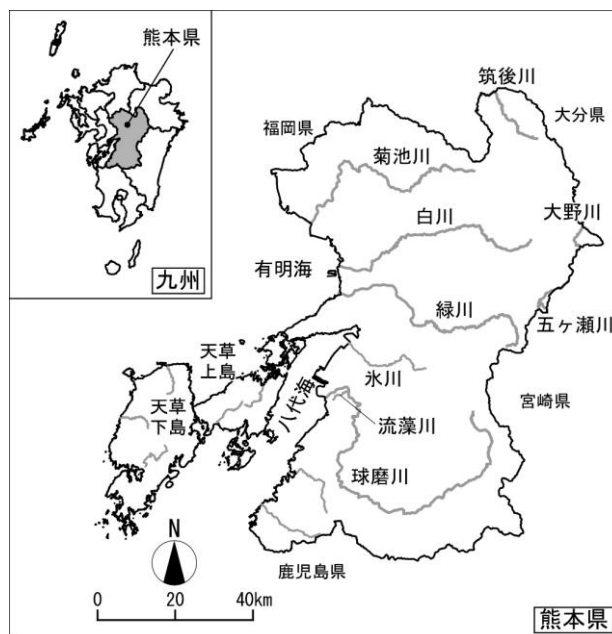


図 1 熊本県の位置と県内の一級河川等

また、外来種に関しては熊本県内で繁殖し、定着しているものだけを取り上げた。国外外来種が14種、国内外来種が14種であった。これらの外来種は、意図的に放流されたもののほか、水産種苗の放流時等に非意図的に混入して広まったと考えられているものがある。

なお、魚類の分類学の進展や国内外からの新たな外来種の定着に伴い、将来に目録を改訂する可能性があるため、本目録を第一版とした。

凡例

表記は種ごとに番号、標準和名、学名、次いで①生活型②環境省 RL③熊本県 RDB④外来種⑤分布・その他の順で行った。

また、分類体系、標準和名及び学名は中坊（2013）に従い、それ以降にシノニム・学名が変更されたものや、新種として学名が付けられたものは日本魚類学会ホームページ（シノニム・学名の変更：http://www.fish-isj.jp/info/list_rename.html 2023年11月24日確認）に従った。「亜種」の学名は三名法で表記した。

①生活型：淡水魚類を生活型によって、「純淡水魚」（一生を淡水中でおくる魚.）、「通し回遊魚」（生活環のある時期に規則的に川と海の間を回遊する魚.）、「汽水・海水魚」（汽水域で生活する魚や、本来は海産魚だが一時的に淡水域に侵入する魚.）に大別した。なお、「通し回遊魚」はさらに降河回遊魚、遡河回遊魚、両側回遊魚に分けることがある。また、陸封された個体群も含んでいる。

②環境省 RL：環境省レッドリスト 2020 汽水・淡水魚類 (<https://www.env.go.jp/content/900515981.pdf> 2023年11月24日確認) の掲載種は、そのカテゴリーを示した。

③熊本県 RDB：熊本県レッドデータブック 2019（熊本県希少野生動物植物検討委員会編 2019）の掲載種は、そのカテゴリーを示した。

④外来種：熊本県に在来でないものを外来種とし、さらにそれを「国内外来種」と「国外外来種」に類別して記述した。国内外来種については、中坊（2013）に記載の自然分布地を付記した。「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）」で指定された特定外来生物 (<http://www.env.go.jp/nature/intro/1outline/list/index.html#gyo> 2023年11月24日確認) は（特定外来生物）と示し、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」 (https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list/fuka_anima

l.pdf 2023年11月24日確認) の掲載種は、そのカテゴリーを括弧内に示した。

⑤分布・その他：分布の極限や限界があるものについては示したが、詳細な産地は生息地秘匿の観点から示さなかった。その他、特記事項を付記した。

結果

ヤツメウナギ目 Petromyzontiformes

ヤツメウナギ科 Petromyzontidae

1 スナヤツメ南方種 *Lethenteron* sp.S.

①純淡水魚 ②絶滅危惧Ⅱ類 (VU) ③準絶滅危惧 (NT)

トビエイ目 Myliobatiformes

アカエイ科 Dasyatidae

2 アカエイ *Hemitrygon akajei* (Bürger in Müller and Henle, 1841)

①汽水・海水魚 ⑤本種と別に「*Hemitrygon* sp. アリアケアカエイ」があるが確認されていない。

カライワシ目 Elopiformes

カライワシ科 Elopidae

3 カライワシ *Elops hawaiiensis* Regan, 1909

①汽水・海水魚 ⑤葉形仔魚(レプトケパルス)期を経る。イセゴイ科 Megalopidae

4 イセゴイ *Megalops cyprinoides* (Broussonet, 1782)

①汽水・海水魚 ⑤別称「ハイレン」。葉形仔魚(レプトケパルス)期を経る。

ウナギ目 Anguilliformes

ウナギ科 Anguillidae

5 ニホンウナギ *Anguilla japonica* Temminck and Schlegel, 1847

①通し回遊魚②絶滅危惧ⅠB類 (EN) ③準絶滅危惧 (NT) ⑤葉形仔魚(レプトケパルス)期を経る。

6 オオウナギ *Anguilla marmorata* Quoy and Gaimard, 1824

①通し回遊魚 ③要注目種 (AN) ⑤葉形仔魚(レプトケパルス)期を経る。

ウミヘビ科 Ophichthidae

7 ホタテウミヘビ *Ophichthus altipennis* (Kaup, 1856)

①汽水・海水魚⑤葉形仔魚(レプトケパルス)期を経る。

ニシン目 Clupeiformes

ニシン科 Clupeidae

8 ヒラ *Ilisha elongate* (Bennett, 1830)

①汽水・海水魚

9 サツパ *Sardinella zunasi* (Bleeker, 1854)

①汽水・海水魚

10 コノシロ *Konosirus punctatus* (Temminck and Schlegel, 1846)

①汽水・海水魚

カタクチイワシ科 Engraulidae

11 エツ *Coilia nasus* Temminck and Schlegel, 1846

①汽水・海水魚②絶滅危惧 IB 類 (EN) ③準絶滅危惧 (NT) ⑤緑川が南限だろう。

12 カタクチイワシ *Engraulis japonicus* Temminck and Schlegel, 1846

①汽水・海水魚

コイ目 Cypriniformes

コイ科 Cyprinidae

13 コイ *Cyprinus carpio* Linnaeus, 1758

①純淡水魚 ④ほとんどが国外外来種であり、在来の野生型は稀 ⑤古くから移入され、自然分布は不詳。

14 ゲンゴロウブナ *Carassius cuvieri* Temminck and Schlegel, 1846

①純淡水魚②絶滅危惧 IB 類 (EN) ④国内外来種 ⑤自然分布は琵琶湖・淀川水系。多くの調査報告書では「ゲンゴロウブナ」として記載されるが、過去に改良品種の「ヘラブナ」が日本全国に移入された経緯があり、本県内で採れるものも「ヘラブナ」である可能性が高い。

15 ギンブナ *Carassius* sp.

①純淡水魚

16 オオキンブナ *Carassius buergeri buergeri* (Temminck and Schlegel, 1846)

①純淡水魚

17 ヤリタナゴ *Tanakia lanceolata* Temminck and Schlegel, 1846

①純淡水魚②準絶滅危惧 (NT) ③絶滅危惧 II 類 (VU) ⑤球磨川水系が南限。

18 アブラボテ *Tanakia limbata* (Temminck and Schlegel, 1846)

①純淡水魚 ②準絶滅危惧 (NT) ③準絶滅危惧 (NT) ⑤鹿児島県の高松川が南限。

19 カネヒラ *Acheilognathus rhombeus* (Temminck

and Schlegel, 1846)

①純淡水魚③絶滅危惧 II 類 (VU) ⑤緑川水系が南限。

20 イチモンジタナゴ *Acheilognathus cyanostigma* Jordan and Fowler, 1903

①純淡水魚②絶滅危惧 IA 類 (CR) ④国内外来種 ⑤自然分布は濃尾平野と近畿地方。

21 セボシタビラ *Acheilognathus tabira nakamurae* Arai, Fujikawa and Nagata, 2007

①純淡水魚②絶滅危惧 IA 類 (CR) ③絶滅危惧 IB 類 (EN) ⑤緑川水系が南限。

22 タイリクバラタナゴ *Rhodeus ocellatus ocellatus* (Kner, 1866)

①純淡水魚④国外外来種 (重点対策外来種)

23 ニッポンバラタナゴ *Rhodeus ocellatus kurumeus* Jordan and Thompson, 1914

①純淡水魚 ②絶滅危惧 IA 類 (CR) ③絶滅危惧 IA 類 (CR) ⑤タイリクバラタナゴの侵入前は球磨川水系流藻川が南限であった。

24 カゼトゲタナゴ *Rhodeus smithii smithii* (Regan, 1908)

①純淡水魚 ②絶滅危惧 IB 類 (EN) ③絶滅危惧 II 類 (VU) ⑤球磨川水系流藻川が南限。

25 ハクレン *Hypophthalmichthys molitrix* (Valenciennes, 1844)

①純淡水魚④国外外来種 (その他の総合対策外来種)

26 ワタカ *Ischikauia steenackeri* (Sauvage, 1883)

①純淡水魚 ②絶滅危惧 IA 類 (CR) ④国内外来種 ⑤自然分布は琵琶湖・淀川水系。

27 ハス *Opsariichthys uncirostris uncirostris* (Temminck and Schlegel, 1846)

①純淡水魚②絶滅危惧 II 類 (VU) ④国内外来種 (その他の総合対策外来種 (琵琶湖・淀川以外のハス)) ⑤自然分布は琵琶湖・淀川水系、福井県三方湖。

28 オイカワ *Opsariichthys platypus* (Temminck and Schlegel, 1846)

①純淡水魚

29 カワムツ *Candidia temminckii* (Temminck and Schlegel, 1846)

①純淡水魚

30 ソウギョ *Ctenopharyngodon idella* (Valenciennes, 1844)

①純淡水魚 ④国外外来種 (その他の総合対策外来種)

31 タカハヤ *Phoxinus oxycephalus jouyi* (Jordan and Snyder, 1901)

①純淡水魚

32 ウグイ *Tribolodon hakonensis* (Günther, 1877)

①純淡水魚

33 モツゴ *Pseudorasbora parva* (Temminck and Schlegel, 1846)

①純淡水魚

34 カワヒガイ *Sarcocheilichthys variegatus variegatus* (Temminck and Schlegel, 1846)①純淡水魚 ②準絶滅危惧 (NT) ③準絶滅危惧 (NT)
⑤球磨川が南限.35 ビワヒガイ *Sarcocheilichthys variegatus microoculus* Mori, 1927

①純淡水魚 ④国内外来種 ⑤自然分布は琵琶湖及びそこから流れ出る瀬田川.

36 ムギツク *Pungtungia herzi* Herzenstein, 1892

①純淡水魚 ⑤球磨川が南限.

37 タモロコ *Gnathopogon elongatus elongatus* (Temminck and Schlegel, 1846)

①純淡水魚 ④国内外来種 ⑤自然分布は関東以西の本州と四国.

38 ゼゼラ *Biwia zezera* (Ishikawa, 1895)①純淡水魚 ②絶滅危惧 II 類 (VU) ④国内外来種
⑤自然分布は濃尾平野, 琵琶湖・淀川水系, 岡山平野, 九州北部.39 カマツカ *Pseudogobio esocinus esocinus* (Temminck and Schlegel, 1846)

①純淡水魚

40 ツチフキ *Abbottina rivularis* (Basilewsky, 1855)

①純淡水魚 ②絶滅危惧 IB 類 (EN) ⑤菊池川水系が南限. ただし, 菊池川より南側の河川での記録もある.

41 コウライニゴイ *Hemibarbus labeo* (Pallas, 1774)

①純淡水魚 ④国内外来種 ⑤自然分布は中部～山陽地方, 四国. 特に菊池川に多い.

42 ニゴイ *Hemibarbus barbus* (Temminck and Schlegel, 1846)

①純淡水魚 ④国内外来種 ⑤自然分布は中部地方以北の本州と錦川以西の山口県・九州に不連続分布.

43 イトモロコ *Squalidus gracilis gracilis* (Temminck and Schlegel, 1846)

①純淡水魚 ⑤球磨川水系が南限.

44 スゴモロコ *Squalidus chankaensis biwae* (Jordan and Snyder, 1900)①純淡水魚 ②絶滅危惧 II 類 (VU) ④国内外来種
⑤琵琶湖の固有亜種. 熊本県内で増加中.45 コウライモロコ *Squalidus chankaensis**tsuchigae* (Jordan and Hubbs, 1925)

①純淡水魚 ④国内外来種 ⑤自然分布は濃尾平野, 和歌山県紀ノ川～広島県芦田川までの本州瀬戸内側, 四国の吉野川.

ドジョウ科 Cobitidae

46 ドジョウ *Misgurnus anguillicaudatus* (Cantor, 1842)

①純淡水魚 ②準絶滅危惧 (NT) ⑤県内では中国大陸由来の外來系統のドジョウも見つかっている.

47 カラドジョウ *Misgurnus dabryanus* (Sauvage, 1878)①純淡水魚 ④国外外来種 (その他の総合対策外来種)
⑤阿蘇谷に多く, 増加中.48 ヤマトシマドジョウ *Cobitis matsubarae* Okada and Ikeda, 1939①純淡水魚 ②絶滅危惧 II 類 (VU) ⑤ 4 倍体性で $2n=86$ と $2n=94$ がある (中坊 2013).49 アリアケスジシマドジョウ *Cobitis kaibarai* Nakajima, 2012

①純淡水魚 ②絶滅危惧 IB 類 (EN) ③要注目種 (AN) ⑤県北に分布.

ナマズ目 Siluriformes

ギギ科 Bagridae

50 ギギ *Tachysurus nudiceps* (Sauvage, 1883)

①純淡水魚 ④国内外来種 (その他の総合対策外来種 (九州北西部及び東海・北陸地方以東のギギ)) ⑤自然分布は琵琶湖・淀川水系以西の本州, 四国の吉野川, 九州北東部. 県下では球磨川水系のみに分布.

51 アリアケギバチ *Tachysurus aurantiacus* (Temminck and Schlegel, 1846)

①純淡水魚 ②絶滅危惧 II 類 (VU) ③絶滅危惧 II 類 (VU)

ナマズ科 Siluridae

52 ナマズ *Silurus asotus* Linnaeus, 1758

①純淡水魚

アカザ科 Amblycipitidae

53 アカザ *Liobagrus reinii* Hilgendorf, 1878

①純淡水魚 ②絶滅危惧 II 類 (VU) ③絶滅 (EX)

ゴンズイ科 Plotosidae

54 ゴンズイ *Plotosus japonicus* Yoshino and Kishimoto, 2008

①汽水・海水魚

- サケ目 Salmoniformes
 キュウリウオ亜目 Osmeroidei
 キュウリウオ科 Osmeridae
- 55 ワカサギ** *Hypomesus nipponensis* McAllister, 1963
 ①通し回遊魚（陸封型） ④国内外来種 ⑤自然分布は北海道、東京都・島根県以北の本州。菊池川、緑川、球磨川の各水系のダム湖を中心に移入。
 アユ科 Plecoglossidae
- 56 アユ** *Plecoglossus altivelis altivelis* (Temminck and Schlegel, 1846)
 ①通し回遊魚
 シラウオ科 Salangidae
- 57 アリアケシラウオ** *Salanx ariakensis* Kishinouye, 1902
 ①通し回遊魚 ②絶滅危惧 IA 類 (CR) ③絶滅危惧 IA 類 (CR)
- 58 アリアケヒメシラウオ** *Neosalanx reganix* Wakiya and Takahasi, 1937
 ①通し回遊魚 ②絶滅危惧 IA 類 (CR) ③絶滅危惧 IA 類 (CR)
- 59 シラウオ** *Salangichthys microdon* (Bleeker, 1860)
 ①通し回遊魚 ③絶滅危惧 II 類 (VU)
 サケ亜目 Salmonoidei
 サケ科 Salmonidae
- 60 イワナ類** *Salvelinus leucomaenis* ssp.
 ①純淡水魚 ④国内外来種 ⑤自然分布について、ゴギは岡山県吉井川・島根県斐伊川以西の中国地方に、ニッコウイワナは山梨県富士川・鳥取県日野川以北の本州各地に生息。移入されたイワナ類が県内数カ所で定着(石黒義也・藤井 私信)。イワナ属には2種あり、そのうちのイワナ (*Salvelinus leucomaenis*) は4つの亜種に分けられる。熊本県内に生息しているのはそのうちのゴギ (*S. leucomaenis imbricus* (Jordan and McGregor 1925)) またはニッコウイワナ (*S. leucomaenis pluvius* (Hilgendorf 1876)) のいずれか、あるいはその両亜種と考えられる。
- 61 ヤマメ** *Oncorhynchus masou masou* (Brevoort, 1856)
 ①通し回遊魚（陸封型） ②準絶滅危惧 (NT) ⑤移入されたものが多い。
- タウナギ目 Synbranchiformes
 タウナギ科 Synbranchidae
- 62 タウナギ** *Monopterus albus* (Zuiew, 1793)
 ①純淡水魚 ⑤在来か外来かは不詳。
- トゲウオ目 Gasterosteiformes
 トゲウオ亜目 Gasterosteoidae
 トゲウオ科 Gasterosteidae
- 63 ニホンイトヨ** *Gasterosteus nipponicus* Higuchi, Sakai and Goto, 2014
 ①通し回遊魚 ③絶滅 (EX) ⑤中坊 (2013) では、「日本海系イトヨ *Gasterosteus* sp.」。
 ヨウジウオ亜目 Syngnathoidei
 ヨウジウオ科 Syngnathidae
- 64 ヨウジウオ** *Syngnathus schlegelii* Kaup, 1856
 ①汽水・海水魚
- 65 ガンテンイシヨウジ** *Hippichthys (Prasygnathus) penicillus* (Cantor, 1849)
 ①汽水・海水魚 ③要注目種 (AN)
- 66 テングヨウジ** *Microphis (Oostethus) brachyurus brachyurus* (Bleeker, 1853)
 ①汽水・海水魚 ③要注目種 (AN)
- ボラ目 Mugiliformes
 ボラ科 Mugilidae
- 67 ボラ** *Mugil cephalus cephalus* Linnaeus, 1758
 ①汽水・海水魚
- 68 セスジボラ** *Chelon affinis* (Gunther, 1861)
 ①汽水・海水魚
- 69 メナダ** *Chelon haematocheilus* (Temminck and Schlegel, 1845)
 ①汽水・海水魚
- 70 コボラ** *Chelon macrolepis* (Smith, 1849)
 ①汽水・海水魚
- トウゴロウイワシ目 Atheriniformes
 トウゴロウイワシ科 Atherinidae
- 71 トウゴロウイワシ** *Doboatherina bleekeri* (Günther, 1861)
 ①汽水・海水魚
- カダヤシ目 Cyprinodontiformes
 カダヤシ科 Poeciliidae
- 72 カダヤシ** *Gambusia affinis* (Baird and Girard, 1853)

①純淡水魚④国外外来種（特定外来生物，重点対策外来種）

73 グッピー *Poecilia reticulata* Peters, 1859

①純淡水魚 ④国外外来種（その他の総合対策外来種）

74 コクチモーリー *Poecilia sphenops* Valenciennes, 1846

①純淡水魚 ④国外外来種 ⑤阿蘇市の限られた水域に定着.

ダツ目 Beloniformes

メダカ亜目 Adrianichthyoidei

メダカ科 Adrianichthyidae

75 ミナミメダカ *Oryzias latipes* (Temminck and Schlegel, 1846)

①純淡水魚 ②絶滅危惧Ⅱ類 (VU) ③準絶滅危惧(NT)

トビウオ亜目 Exocoetoidei

サヨリ科 Hemiramphidae

76 クルメサヨリ *Hyporhamphus intermedius* (Cantor, 1842)

①汽水・海水魚 ②準絶滅危惧 (NT) ③準絶滅危惧 (NT)

77 サヨリ *Hyporhamphus sajori* (Temminck and Schlegel, 1846)

①汽水・海水魚

ダツ科 Belonidae

78 ダツ *Strongylura anastomella* (Valenciennes, 1846)

①汽水・海水魚

スズキ目 Perciformes

カサゴ亜目 Scorpaenoidei

コチ科 Platycephalidae

79 マゴチ *Platycephalus* sp. 2

①汽水・海水魚

スズキ亜目 Percoidei

ケツギョ科 Siniperacidae

80 オヤニラミ *Coreoperca kawamebari* (Temminck and Schlegel, 1843)

①純淡水魚 ②絶滅危惧ⅠB類 (EN) ③絶滅危惧Ⅱ類 (VU) ⑤菊池川水系が南限。白川水系（阿蘇市）や緑川水系等に移入されており，白川水系には明治以前に移入されたと推察される。緑川水系では少なくとも昭和30年頃には生息していたという聞き取り結果がある（林田 私信）。

スズキ科 Lateolabracidae

81 スズキ *Lateolabrax japonicus* (Cuvier, 1828)

①汽水・海水魚⑤「アリアケスズキ *L. latus*」(日本固有種)及び「タイリクスズキ *L. maculatus* (McClelland, 1844)」(国外外来種)も県内に生息する可能性がある。両種の外見での判別は難しいとされる。

サンフィッシュ科 Centrarchidae

82 ブルーギル *Lepomis macrochirus macrochirus* Rafinesque, 1819

①純淡水魚 ④国外外来種（特定外来生物，緊急対策外来種） ⑤県内に広く移入されている。

83 オオクチバス *Micropterus nigricans* (Cuvier, 1828)

①純淡水魚④国外外来種（特定外来生物，緊急対策外来種） ⑤県内に広く移入されている。

アジ科 Carangidae

84 ギンガメアジ *Caranx sexfasciatus* Quoy and Gaimard, 1825

①汽水・海水魚

ヒイラギ科 Leiognathidae

85 ヒイラギ *Nuchequula nuchalis* (Temminck and Schlegel, 1845)

①汽水・海水魚

フエダイ科 Lutjanidae

86 ゴマフエダイ *Lutjanus argentimaculatus* (Forsskål, 1775)

①汽水・海水魚

クロサギ科 Gerreidae

87 ダイミョウサギ *Gerres japonicus* Bleeker, 1854

①汽水・海水魚

88 クロサギ *Gerres equulus* Temminck and Schlegel, 1844

①汽水・海水魚

イサキ科 Haemulidae

89 コシヨウダイ *Plectorhinchus cinctus* (Temminck and Schlegel, 1843)

①汽水・海水魚

タイ科 Sparidae

90 ヘダイ *Rhabdosargus sarba* (Forsskål, 1775)

①汽水・海水魚

91 クロダイ *Acanthopagrus schlegelii* (Bleeker, 1854)

①汽水・海水魚

92 キチヌ *Acanthopagrus latus* (Houttuyn, 1782)

①汽水・海水魚

ニベ科 Sciaenidae

- 93 コイチ *Nibea albiflora* (Richardson, 1846)
①汽水・海水魚
- 94 シログチ *Pennahia argentata* (Houttuyn, 1782)
①汽水・海水魚
- キス科 Sillaginidae
- 95 シロギス *Sillago japonica* Temminck and Schlegel, 1843
①汽水・海水魚
- カワスズメ科 Cichlidae
- 96 カワスズメ *Oreochromis mossambicus* (Peters, 1852)
①純淡水魚 ④国外外来種（その他の総合対策外来種）
⑤別名モザンビークティラピア.
- 97 ナイルティラピア *Oreochromis niloticus* (Linnaeus, 1758)
①純淡水魚 ④国外外来種（その他の総合対策外来種）
- 98 ジルティラピア *Tilapia zillii* (Gervais, 1848)
①純淡水魚 ④国外外来種（その他の総合対策外来種）
- シマイサキ科 Teraponidae
- 99 コトヒキ *Terapon jarbua* (Forsskål, 1775)
①汽水・海水魚
- 100 シマイサキ *Rhynchopelates oxyrhynchus* (Temminck and Schlegel, 1842)
①汽水・海水魚
- ユゴイ科 Kuhliidae
- 101 ユゴイ *Kuhlia marginata* (Cuvier, 1829)
①汽水・海水魚 ⑤天草地方のみに分布.
- カジカ亜目 Cottoidei
- カジカ科 Cottidae
- 102 ヤマノカミ *Trachidermus fasciatus* Heckel, 1837
①通し回遊魚②絶滅危惧IB類 (EN) ③絶滅危惧IB類 (EN) ⑤菊池川が南限. ただし, 菊池川より南側の白川産標本の記録もある.
- 103 カマキリ(アユカケ) *Rheopresbe kazika* (Jordan and Starks, 1904)
①通し回遊魚②絶滅危惧II類 (VU) ③絶滅 (EX)
- 104 カジカ *Cottus pollux* Gunther, 1837
①純淡水魚(陸封型) ②準絶滅危惧 (NT) ③絶滅危惧IB類 (EN) ⑤菊池川水系が南限.
- 105 カジカ中卵型 *Cottus* sp.
①通し回遊魚 ②絶滅危惧IB類 (EN) ③絶滅危惧IB類 (EN) ⑤球磨川が南限. 中坊 (2013) では「ウツセミカジカ(カジカ小卵型: 両側回遊型(中卵型を

含む) *C. reinni* Hilgendorf, 1879」に該当. ただし, カジカ種群の分類は混迷しているため, 学名は「*C. sp.*」に留めておく.

ギンボ亜目 Blennioidei

イソギンボ科 Blenniidae

- 106 トサカギンボ *Omobranchus fasciolatoceps* (Richardson, 1846)
①汽水・海水魚
- 107 イダテンギンボ *Omobranchus punctatus* (Valenciennes, 1836)
①汽水・海水魚
- ハゼ亜目 Gobioidaei
- ドンコ科 Odontobutidae
- 108 ドンコ *Odontobutis obscura* (Temminck and Schlegel, 1845)
①純淡水魚
- カワアナゴ科 Eleotridae
- 109 カワアナゴ *Eleotris oxycephala* Temminck and Schlegel, 1845)
①通し回遊魚③準絶滅危惧 (NT)
- 110 チチブモドキ *Eleotris acanthopoma* Bleeker, 1853
①生活型不詳③準絶滅危惧 (NT) ⑤南方系. 天草地方のみに分布.
- 111 オカメハゼ *Eleotris melanosoma* Bleeker, 1852
①生活型不詳 ③要注目種 (AN) ⑤南方系. 天草地方のみに分布.
- ハゼ科 Gobiidae
- ミミズハゼ属
- 112 イドミミズハゼ *Luciogobius pallidus* (Regan, 1940)
①汽水・海水魚 ②準絶滅危惧 (NT) ③絶滅危惧II類 (VU)
- 113 ミミズハゼ *Luciogobius guttatus* Gill, 1859
①汽水・海水魚
- 114 イソミミズハゼ *Luciogobius martellii* Di Caporiacco, 1948
①汽水・海水魚
- ヒモハゼ属
- 115 ヒモハゼ *Eutaeniichthys gilli* Jordan and Snyder, 1901
①汽水・海水魚 ②準絶滅危惧 (NT)
- シロウオ属
- 116 シロウオ *Leucopsarion petersii* Hilgendorf,

- 1880
①通し回遊魚 ②絶滅危惧Ⅱ類 (VU) ③準絶滅危惧 (NT)
アカウオ属
- 117 アカウオ *Paratrypauchen microcephalus* (Bleeker, 1860)
①汽水・海水魚 ②準絶滅危惧 (NT)
ワラスボ属
- 118 ワラスボ *Odontamblyopus lacepedii* (Temminck and Schlegel, 1845)
①汽水・海水魚 ②絶滅危惧Ⅱ類 (VU) ③要注目種 (AN)
チワラスボ属
- 119 チワラスボ *Taenioides snyderi* Jordan and Hubbs, 1925
①汽水・海水魚 ②絶滅危惧Ⅱ類 (EN) ③要注目種 (AN)
ムツゴロウ属
- 120 ムツゴロウ *Boleophthalmus pectinirostris* (Linnaeus, 1758)
①汽水・海水魚 ②絶滅危惧Ⅱ類 (EN) ③絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
タビラクチ属
- 121 タビラクチ *Apocryptodon punctatus* Tomiyama, 1934
①汽水・海水魚 ②絶滅危惧Ⅱ類 (VU) ③準絶滅危惧 (NT)
トビハゼ属
- 122 トビハゼ *Periophthalmus modestus* Cantor, 1842
①汽水・海水魚 ②準絶滅危惧 (NT)
オキナワハゼ属
- 123 タネハゼ *Callogobius tanegasimae* (Snyder, 1908)
①汽水・海水魚 ③準絶滅危惧 (NT)
マハゼ属
- 124 マハゼ *Acanthogobius flavimanus* (Temminck and Schlegel, 1845)
①汽水・海水魚
- 125 ハゼクチ *Acanthogobius hasta* (Temminck and Schlegel, 1845)
①汽水・海水魚 ②絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
- 126 アシシロハゼ *Acanthogobius lactipes* (Hilgendorf, 1879)
①汽水・海水魚
- ボウズハゼ属
- 127 ボウズハゼ *Sicyopterus japonicus* (Tanaka, 1909)
①通し回遊魚 ③要注目種 (AN)
- 128 ナンヨウボウズハゼ *Stiphodon percnopterygionus* Watson and Chen, 1998
①通し回遊魚 ⑤南方系. 天草地方のみに分布.
ゴマハゼ属
- 129 ゴマハゼ *Pandaka* sp.
①汽水・海水魚 ②絶滅危惧Ⅱ類 (VU) ③準絶滅危惧 (NT)
アベハゼ属
- 130 アベハゼ *Mugilogobius abei* (Jordan and Snyder, 1901)
①汽水・海水魚
スナゴハゼ属
- 131 マサゴハゼ *Pseudogobius masago* (Tomiyama, 1936)
①汽水・海水魚 ②絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
ミナミハゼ属
- 132 ミナミハゼ *Awaous ocellaris* (Broussonet 1782)
①生活型不詳 ③要注目種 (AN) ⑤南方系. 天草地方のみに分布.
チチブ属
- 133 シロチチブ *Tridentiger nudicervicus* Tomiyama, 1934
①汽水・海水魚 ②準絶滅危惧 (NT) ③準絶滅危惧 (NT)
- 134 ショウキハゼ *Tridentiger barbatus* (Günther, 1861)
①汽水・海水魚 ②準絶滅危惧 (NT) ③要注目種 (AN)
- 135 シモフリシマハゼ *Tridentiger bifasciatus* Steindachner, 1881
①汽水・海水魚
- 136 スマチチブ *Tridentiger brevispinis* Katsuyama, Arai and Nakamura, 1972
①通し回遊魚 (回遊型・陸封型)
- 137 チチブ *Tridentiger obscurus* (Temminck and Schlegel, 1845)
①通し回遊魚
ノボリハゼ属
- 138 ノボリハゼ *Oligolepis acutipennis* (Valenciennes, 1837)
①生活型不詳 ③要注目種 (AN) ⑤南方系. 天草地方

のみに分布。

139 クチサケハゼ *Oligolepis stomias* (Smith, 1941)

①生活型不詳③要注目種 (AN) ⑤南方系. 天草地方のみに分布。

ヒナハゼ属

140 ヒナハゼ *Redigobius bikolanus* (Herre, 1927)

①汽水・海水魚③要注目種 (AN)

クモハゼ属

141 クモハゼ *Bathygobius fuscus* (Rüppell, 1830)

①汽水・海水魚

ヨシノボリ属

142 カワヨシノボリ *Rhinogobius flumineus* (Mizuno, 1960)

①純淡水魚⑤県北の一部の河川のみに分布。

143 シマヨシノボリ *Rhinogobius nagoyae* Jordan and Seale, 1906

①通し回遊魚

144 ルリヨシノボリ *Rhinogobius mizunoi* Suzuki, Shibukawa and Aizawa, 2017

①通し回遊魚③要注目種 (AN)

145 オオヨシノボリ *Rhinogobius fluviatilis* Tanaka, 1925

①通し回遊魚 (回遊型・陸封型)

146 クロヨシノボリ *Rhinogobius brunneus* (Temminck and Schlegel, 1845)

①通し回遊魚⑤天草で普通。

147 トウヨシノボリ類 *Rhinogobius* sp. OR unidentified

①通し回遊魚 (回遊型・陸封型) ⑤トウヨシノボリ類の分類が混乱している現状において和名も学名も未決定であるため, ここでは, 調査報告書等で多く用いられる暫定的な和名・学名で表記する。

148 ゴクラクハゼ *Rhinogobius similis* Gill, 1859

①通し回遊魚 (回遊型・陸封型)

ウロハゼ属

149 ウロハゼ *Glossogobius olivaceus* (Temminck and Schlegel, 1845)

①汽水・海水魚

キララハゼ属

150 ツマグロスジハゼ *Acentrogobius* sp. A

①汽水・海水魚

ヒメハゼ属

151 ヒメハゼ *Favonigobius gymnauchen* (Bleeker, 1860)

①汽水・海水魚

152 ミナミヒメハゼ *Favonigobius reichei* (Bleeker, 1853)

①汽水・海水魚 ⑤南方系. 天草地方のみに分布。

ウキゴリ属

153 スミウキゴリ *Gymnogobius petschiliensis* (Rendahl, 1924)

①通し回遊魚 ③要注目種 (AN)

154 ウキゴリ *Gymnogobius urotaenia* (Hilgendorf, 1879)

①通し回遊魚 (回遊型・陸封型)

155 ニクハゼ *Gymnogobius heptacanthus* (Hilgendorf, 1879)

①汽水・海水魚

156 ビリンゴ *Gymnogobius breunigii* (Steindachner, 1880)

①汽水・海水魚

157 チクゼンハゼ *Gymnogobius uchidai* (Takagi, 1957)

①汽水・海水魚 ②絶滅危惧Ⅱ類 (VU) ③準絶滅危惧 (NT)

158 クボハゼ *Gymnogobius scrobiculatus* (Takagi, 1957)

①汽水・海水魚 ②絶滅危惧Ⅱ類 (EN) ③絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

159 キセルハゼ *Gymnogobius cylindricus* (Tomiyama, 1936)

①汽水・海水魚 ②絶滅危惧Ⅱ類 (EN) ③絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

160 エドハゼ *Gymnogobius macrognathos* Bleeker, 1860

①汽水・海水魚 ②絶滅危惧Ⅱ類 (VU) ③絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

ニザダイ亜目 Acanthuroidei

クロホシマンジュウダイ科 Scatophagidae

161 クロホシマンジュウダイ *Scatophagus argus* (Linnaeus, 1766)

①汽水・海水魚 ⑤南方系。

アイゴ科 Siganidae

162 アイゴ *Siganus fuscescens* (Houttuyn, 1782)

①汽水・海水魚

タイワンドジョウ亜目 Channoidei

タイワンドジョウ科 Channidae

163 カムルチー *Channa argus* (Cantor, 1842)

①純淡水魚 ④国外外来種

カレイ目 Pleuronectiformes

ヒラメ科 Paralichthyidae

164 ヒラメ *Paralichthys olivaceus* (Temminck and Schlegel, 1846)

①汽水・海水魚

165 テンジクガレイ *Pseudorhombus arsius* (Hamilton, 1822)

①汽水・海水魚

カレイ科 Pleuronectidae

166 イシガレイ *Platichthys bicoloratus* (Basilewsky, 1855)

①汽水・海水魚

フグ目 Tetraodontiformes

モンガラカワハギ亜目 Balistoidei

ギマ科 Triacanthidae

167 ギマ *Triacanthus biaculeatus* (Bloch, 1786)

①汽水・海水魚

フグ亜目 Tetraodontoidei

フグ科 Tetraodontidae

168 シマフグ *Takifugu xanthopterus* (Temminck and Schlegel, 1850)

①汽水・海水魚

169 クサフグ *Takifugu alboplumbeus* (Richardson, 1845)

①汽水・海水魚

170 トラフグ *Takifugu rubripes* (Temminck and Schlegel, 1850)

①汽水・海水魚

【確認種の写真図版】



1 スナヤツメ南方種



2 アカエイ



3 カライワシ



5 ニホンウナギ



6 オオウナギ



7 ホタテウミヘビ



8 ヒラ



9 サツパ



10 コノシロ



11 エツ



12 カタクチイワシ



13 コイ



14 ゲンゴロウブナ



15 ギンブナ



16 オオキンブナ



17 ヤリタナゴ



18 アブラボテ



19 カネヒラ



20 イチモンジタナゴ



21 セボシタビラ



22 タイリクバラタナゴ



23 ニッポンバラタナゴ



24 カゼトゲタナゴ



26 ワタカ



27 ハス



28 オイカワ



29 カワムツ



31 タカハヤ



32 ウグイ



33 モツゴ



34 カワヒガイ



36 ムギツク



37 タモロコ



38 ゼゼラ



39 カマツカ



40 ツチフキ



41 コウライニゴイ



42 ニゴイ



43 イトモロコ



44 スゴモロコ



45 コウライモロコ



46 ドジョウ



48 ヤマトシマドジョウ



49 アリアケスジシマドジョウ



50 ギギ



51 アリアケギバチ



52 ナマズ



53 アカザ



54 ゴンズイ



55 ワカサギ



56 アユ



57 アリアケシラウオ



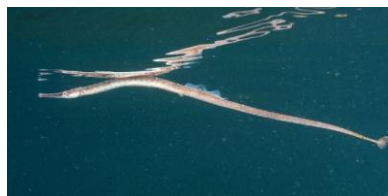
58 アリアケヒメシラウオ



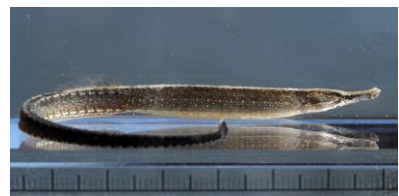
61 ヤマメ



62 タウナギ



64 ヨウジウオ



65 ガンテンイシヨウジ



66 テングヨウジ



67 ボラ



68 セスジボラ



69 メナダ



71 トウゴロウイワシ



72 カダヤシ



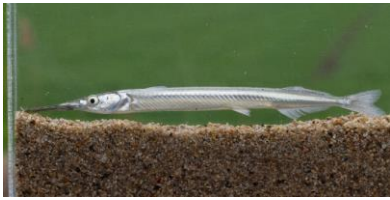
73 グッピー



74 コクチモーリー



75 ミナミメダカ



76 クルメサヨリ



77 サヨリ



78 ダツ



79 マゴチ



80 オヤニラミ



81 スズキ



82 ブルーギル



83 オオクチバス



84 ギンガメアジ



85 ヒイラギ



86 ゴマフエダイ



88 クロサギ



89 コショウダイ



90 ヘダイ



91 クロダイ



92 キチヌ



93 コイチ



94 シログチ



95 シロギス



98 ジルティラピア



100 シマイサキ



101 ユゴイ



102 ヤマノカミ



104 カジカ



105 カジカ中卵型



106 トサカギンポ



107 イダテンギンポ



108 ドンコ



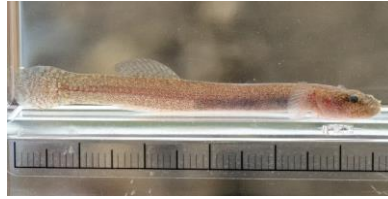
109 カワアナゴ



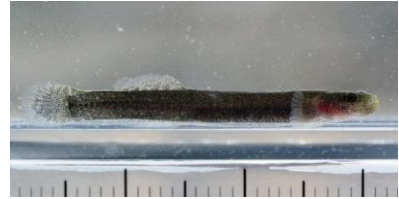
110 チチブモドキ



112 イドミズハゼ



113 ミミズハゼ



114 イソミズハゼ



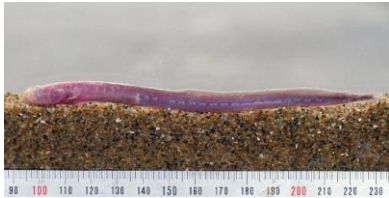
115 ヒモハゼ



116 シロウオ



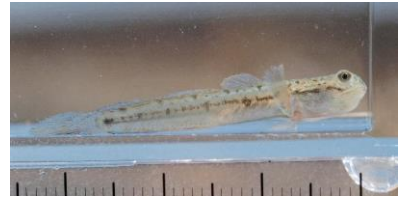
118 ワラスボ



119 チワラスボ



120 ムツゴロウ



121 タビラクチ



122 トビハゼ



123 タネハゼ



124 マハゼ



125 ハゼクチ



126 アシシロハゼ



127 ボウズハゼ



130 アベハゼ



131 マサゴハゼ



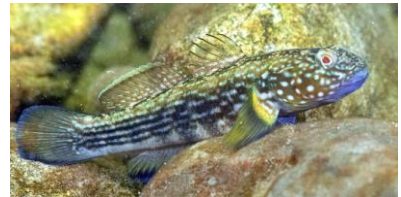
133 シロチチブ



134 ショウキハゼ



135 シモフリシマハゼ



136 ヌマチチブ



137 チチブ



140 ヒナハゼ



142 カワヨシノボリ



143 シマヨシノボリ



144 ルリヨシノボリ



145 オオヨシノボリ



146 クロヨシノボリ



147 トウヨシノボリ類



148 ゴクラクハゼ



149 ウロハゼ



150 ツマグロスジハゼ



151 ヒメハゼ



153 スミウキゴリ



154 ウキゴリ



155 ニクハゼ



156 ビリンゴ



157 チクゼンハゼ



158 クボハゼ



159 キセルハゼ



160 エドハゼ



161 クロホシマンジュウダイ



162 アイゴ



163 カムルチー



164 ヒラメ



166 イシガレイ



169 クサフグ



170 トラフグ

目録に挙げた 170 種のうち 144 種を本図版に掲載した。写真下には、目録にある種ごとの番号と標準和名を示した。写真はすべて林田創の撮影による。

表 1 熊本県における主要な水系ごとの淡水魚類の確認状況

番号	標準和名	環境省 RL	熊本県 RDB	分布に関する情報	河川水辺の国勢調査(文1) による確認					採集, 標本, 文献, 潜水観察, 目撃による確認					
					菊池川 水系	白川 水系	緑川 水系	球磨川 水系	筑後川 水系	菊池川 水系	白川 水系	緑川 水系	球磨川 水系	筑後川 水系	その他
1	スナヤツメ南方種	VU	NT							2001 標	1970 標	2021 標	2023 標		2021 標
2	アカエイ				2017	2018	2018	2018				1998 標藤			
3	カライワシ						2018	2014		2020 文2		1997 標藤			
4	イセゴイ											1935 頃文3			
5	ニホンウナギ	EN	NT							1994 標藤	1977 標	2021 採	2021 文4		1998 標
6	オオウナギ		AN												2020 目
7	ホタテウミヘビ					2018									
8	ヒラ				2001		1996					2000 標藤			
9	サツバ				2011	2018	1996	2009		1994 標藤	1997 標藤	2001 標藤			
10	コノシロ				2017	2018	2018	2018		1998 標藤	1997 標藤	2000 標藤			1998 標
11	エツ	EN	NT	緑川が南限だろう.								2000 標藤			
12	カタクチイワシ				2011	2013	1996	2018				1996 標藤			
13	コイ			古くから移入され, 自然分布は不詳.	2017	2018	2018	2018	2017	2023 潜		2023 潜	1995 標藤		2023 目
14	ゲンゴロウブナ	EN		自然分布は琵琶湖・淀川水系.						1998 標藤	1985 標	2023 標			2023 採
15	ギンブナ				2017	2018	2018	2018	2017	2023 採	1999 標藤	2023 潜	2022 標	1979 標	2023 採
16	オオキンブナ					2013	2000		1998			2011 採			
17	ヤリタナゴ	NT	VU	球磨川水系が南限.						2023 潜		2022 標	2022 標		2020 目
18	アブラボテ	NT	NT	鹿児島県の高松川が南限.						2023 潜	1998 標	2022 潜	2023 標		2020 標
19	カネヒラ		VU	緑川水系が南限.	2017		2018			2023 潜		2022 潜			2021 潜
20	イチモンジタナゴ	CR		自然分布は濃尾平野と近畿地方.						1979 標		2023 潜	1978 標		1978 標
21	セボシタビラ	CR	EN	緑川水系が南限.						2015 採		2023 潜			1995 標
22	タイリクバラタナゴ					2013	2018	2018			2003 標藤	2019 採	2007 標		2000 標
23	ニッポンバラタナゴ	CR	CR	タイリクバラタナゴの侵入前は球磨川水系流藻川が南限.						2007 文5 2023 潜					2006 文5
24	カゼトゲタナゴ	EN	VU	球磨川水系流藻川が南限.						2023 潜	1977 標	2022 潜	2004 標		2021 潜
25	ハクレン											1977 標			
26	ワタカ	CR		自然分布は琵琶湖・淀川水系.						2018 標	1998 標	2022 標			
27	ハス	VU		自然分布は琵琶湖・淀川水系, 福井県三方湖.						2018 標		2024 標	1978 標		
28	オイカワ				2017	2018	2018	2018	2017	2023 採	2002 標	2023 潜	2024 標	2015 標	2023 潜
29	カワムツ				2017	2018	2018	2018	2017	2023 採	1998 標藤	2023 採	2023 潜	2015 標	2023 潜
30	ソウギョ														2020 目
31	タカハヤ				2017	2018	2018	2018	2017	2023 採	1998 藤	2023 採	2013 標	2015 標	2021 潜
32	ウグイ				2017	2018	2018	2018	2017	2019 潜		2023 潜	1995 標藤	2015 標	2021 潜
33	モツゴ				2017	2018	2018	2018	1993	2006 標	1985 標	2023 潜	1989 標		2021 潜
34	カワヒガイ	NT	NT	球磨川が南限.						2006 標		2023 標			
35	ビワヒガイ			自然分布は琵琶湖及びそこから流れ出る瀬田川.			2018	2009				1998 標			
36	ムギツク			球磨川が南限.	2017	2013	2018		2017	2023 採	1993 標藤	2022 潜		2015 標	2021 潜
37	タモロコ			自然分布は関東以西の本州と四国.			2018	2018				2024 標			2018 標

番号	標準和名	環境省 RL	熊本県 RDB	分布に関する情報	河川水辺の国勢調査(文1) による確認					採集, 標本, 文献, 潜水観察, 目撃による確認					
					菊池川 水系	白川 水系	緑川 水系	球磨川 水系	筑後川 水系	菊池川 水系	白川 水系	緑川 水系	球磨川 水系	筑後川 水系	その他
38	ゼゼラ	VU		自然分布は濃尾平野, 琵琶湖・淀川水系, 岡山平野, 九州北部.								2024 標	1978 標		
39	カマツカ				2017	2018	2018	2018	2017	2023 採	1998 標藤	2023 採	2023 採	2015 標	2023 標
40	ツチフキ	EN		菊池川水系が南限. ただし, 菊池川より南側の河川産の標本もある.						2018 潜		1984 標			2002 標
41	コウライニゴイ			自然分布は中部～山陽地方, 四国. 特に菊池川に多い.	2017					2023 採					
42	ニゴイ			自然分布は中部地方以北の本州と錦川以西の山口県・九州に不連続分布.		2018	2018	2018		2020 標		2023 潜	2023 標		2021 目
43	イトモロコ			球磨川水系が南限.	2017	2013	2018	2018	2017	2023 潜		2024 標	2023 標	2012 標	2023 潜
44	スゴモロコ	VU		琵琶湖の固有亜種. 熊本県内で増加中.	2017	2018		2018	2017				2022 標		
45	コウライモロコ			自然分布は濃尾平野, 和歌山県紀ノ川～広島県芦田川までの本州瀬戸内側, 四国の吉野川.	2011				2007	2018 標		2024 標			2023 標
46	ドジョウ	NT								2023 採	1997 標藤	2023 目	2023 標		2023 標
47	カラドジョウ			阿蘇谷に多く増加中.							2011 文6				
48	ヤマトシマドジョウ	VU								2016 標		2022 潜	1995 標藤		2021 標
49	アリアケスジシマドジョウ	EN	AN	県北に分布.						2022 標					2023 標
50	ギギ			自然分布は琵琶湖・淀川水系以西の本州, 四国の吉野川, 九州北東部. 県下では球磨川水系のみに分布.				2018					2023 標		2023 標
51	アリアケギバチ	VU	VU							2023 採		2017 標	不明 文7	1996 標藤	不明 文8
52	ナマズ				2017	2018	2018	2018	2017	2022 潜	1997 標藤	2020 潜	1995 標藤		2020 標
53	アカザ	VU	EX							不明 文7		不明 文8		1931 標	不明 文7
54	ゴンズイ							1998				2001 標藤			
55	ワカサギ			自然分布は北海道, 東京都・島根県以北の本州. 菊池川, 緑川, 球磨川の各水系のダム湖を中心に移入.	2011		2018	1998		2000 標		1999 標藤			1977 標
56	アユ				2017	2018	2018	2018	2017	2021 潜	1994 標藤	2023 潜	2021 文4		2023 潜
57	アリアケシラウオ	CR	CR							2021 文9		1999 標藤			
58	アリアケヒメシラウオ	CR	CR									2000 標藤			
59	シラウオ		VU		2017	2003		2009				1932 標	2024 目		
60	イワナ類			移入されたものが県内数カ所で定着.								2018 潜	2002 文10		
61	ヤマメ			移入されたものが多い.						1999 標	2002 標	2018 潜	2002 標	2015 標	1977 標
62	タウンギ			在来か外来かは不詳.							2000 項目	2009 標			
63	ニホンイトヨ		EX												1970 頃文7
64	ヨウジウオ						2008								
65	ガンテンイシヨウジ		AN		2017	2008	2013	2018					2023 採		2023 標
66	テングヨウジ		AN												2001 標
67	ボラ				2017	2018	2018	2018		2023 採	1998 標	2022 標	2023 採		2004 標

番号	標準和名	環境省 RL	熊本県 RDB	分布に関する情報	河川水辺の国勢調査(文1) による確認					採集, 標本, 文献, 潜水観察, 目撃による確認					
					菊池川 水系	白川 水系	緑川 水系	球磨川 水系	筑後川 水系	菊池川 水系	白川 水系	緑川 水系	球磨川 水系	筑後川 水系	その他
68	セスジボラ				2017	2018	2018	2018		2000 標	1998 標藤	2010 標	1996 標		2002 標
69	メナダ				2011	2018	2018	2018		1994 標			2023 採		1999 標
70	コボラ														2003 標
71	トウゴロウイワシ				2011	1997		2018			1998 標藤				
72	カダヤシ				2017	2018	2018	2018		2015 標	2010 標	2023 標	1978 標		2023 標
73	グッピー				1996	2018	2018			2002 標		2012 潜			2009 標
74	コクチモーリー			阿蘇市の限られた水域に定着.							2023 採				
75	ミナミメダカ	VU	NT							2023 採	2009 標	2021 採	1978 標		2023 採
76	クルマサヨリ	NT	NT							1994 標藤		2022 標			1978 標
77	サヨリ							2004				1997 標藤			
78	ダツ						2013								
79	マゴチ				2017	2018	2018	2018		2000 標	1998 標藤	2001 標藤			
80	オヤニラミ	EN	VU	菊池川水系が南限. 白川水系(阿蘇市)や緑川水系等に移入.						2023 潜	1998 標藤	2023 潜			2018 目
81	スズキ									2000 標	1998 標藤	2023 潜			2004 標
82	ブルーギル			県内に広く移入.	2017	2003	2018	2014	2017	1990 標	1969 標	2022 標			2023 標
83	オオクチバス			県内に広く移入.	2017		2014	2009	2017	2010 標		2021 目			2021 標
84	ギンガメアジ											1999 標			2003 標
85	ヒイラギ				2017	2018	2018	2018		2000 標	1998 標藤	2001 標藤	1993 標		1998 標
86	ゴマフエダイ														1998 目
87	ダイショウサギ														2014 目
88	クロサギ							2018							2003 標
89	コショウダイ				2017	2013	2018	2018				1995 標藤			2001 標
90	ヘダイ				2017										
91	クロダイ				2017	2013	2018	2018			1997 標藤	2023 標			2001 標
92	キチヌ				2017	2003	2018	2018				2000 標藤	2024 採		2001 標
93	コイチ											2000 標藤			
94	シログチ						2013								
95	シロギス					2013		2014							
96	カワスズメ								1992	2013 標	1977 標				
97	ナイルティラピア				2017		2018			1991 標藤		2021 潜			2009 標
98	ジルティラピア						2018					2023 採			
99	コトヒキ				2011			2018							2004 標
100	シマイサキ						2018	2018				1995 標藤			2001 標
101	ユゴイ			天草地方のみに分布.											2003 標
102	ヤマノカミ	EN	EN	菊池川が南限. ただし, 菊池川より南側の白川産標本の記録もある.						1977 標藤	不明 文7				
103	カマキリ(アユカケ)		EX										不明 文11		不明 文8
104	カジカ		EN	菊池川水系が南限.						2021 潜					
105	カジカ中卵型	EN	EN	球磨川が南限.				2018		不明 文7	不明 文7	2002 標	不明 文7		2023 潜
106	トサカギンボ						2018								
107	イダテンギンボ				2011	2013		2018							1978 標
108	ドンコ				2017	2018	2018	2018	2017	2023 採	2002 標	2023 採	2023 標	1931 標	2023 標

番号	標準和名	環境省 RL	熊本県 RDB	分布に関する情報	河川水辺の国勢調査(文1) による確認					採集, 標本, 文献, 潜水観察, 目撃による確認					
					菊池川 水系	白川 水系	緑川 水系	球磨川 水系	筑後川 水系	菊池川 水系	白川 水系	緑川 水系	球磨川 水系	筑後川 水系	その他
109	カワアナゴ		NT		2017	2018	2018	2014		2018 標		2023 潜	1978 文7		2003 標
110	チチブモドキ		NT	南方系. 天草地方のみに分布.											2003 標
111	オカメハゼ		AN	南方系. 天草地方のみに分布.											1978 標
112	イドミズハゼ	NT	VU									2004 標藤			2004 目
113	ミズハゼ				2017	2018		2018		1977 標藤			2024 採		2013 標
114	イソミズハゼ							2018							
115	ヒモハゼ	NT								1977 標			2023 採		1977 標
116	シロウオ	VU	NT									1986 標			2013 標
117	アカウオ				2011										
118	ワラスボ	VU	AN									2001 標藤			
119	チワラスボ	EN	AN									2001 標藤	2024 採		2014 文12
120	ムツゴロウ	EN	VU							1997 標		2001 標藤			2022 目
121	タビラクチ	VU	NT							1977 標		1995 標藤	2023 採		
122	トビハゼ	NT								2000 標	2019 標	2010 標	2023 採		2023 標
123	タネハゼ		NT					2009		不明 標					2003 標
124	マハゼ				2017	2018	2018	2018		2000 標	2022 標	2023 標	2023 採		2023 標
125	ハゼクチ	VU								1997 標藤	1997 標藤	2023 標			1983 標
126	アシシロハゼ				2017	2018	2018	2018		1998 標藤	1997 標藤	2001 標藤	2023 採		2004 標
127	ボウズハゼ		AN			2013						2020 文13			2001 標
128	ナンヨウボウズハゼ			南方系. 天草地方のみに分布.											1998 目
129	ゴマハゼ	VU	NT												2023 標
130	アベハゼ				2017	2018	2018	2018		1978 標	1999 標	2001 標藤	2023 採		2023 標
131	マサゴハゼ	VU								1978 標		2010 標	2023 採		2005 標
132	ミナミハゼ		AN	南方系. 天草地方のみに分布.											1998 目
133	シロチチブ	NT	NT												1977 標
134	ショウキハゼ	NT	AN									1997 標			1977 標
135	シモフリシマハゼ				2017	2018	2018	2018		1998 標藤	2022 標	2017 標	2023 採		2014 標
136	ヌマチチブ				2017	2018	2018	2018	2017	2014 標	1978 標	2020 標	2024 採		2023 潜
137	チチブ							2018		1998 標藤	1998 標藤	2000 標藤	1996 標		2023 標
138	ノボリハゼ		AN	南方系. 天草地方のみに分布.											2003 標
139	クチサケハゼ		AN	南方系. 天草地方のみに分布.											2001 目
140	ヒナハゼ		AN				2013	2018							2023 標
141	クモハゼ														2003 標
142	カワヨシノボリ			県北の一部の河川のみに分布.					2017					2015 標	2000 標
143	シマヨシノボリ				2017			2018		1977 標		2000 標藤	2023 潜		2023 潜
144	ルリヨシノボリ		AN												2015 標
145	オオヨシノボリ				2017	2018	2018	2018	2007	2023 採	1998 標藤	2021 標	1994 標	1979 標	2023 標
146	クロヨシノボリ			天草で普通.											2020 標
147	トウヨシノボリ類				2017	2018	2018	2018	2017	2023 採	2002 標	2023 採	2022 標		2023 採
148	ゴクラクハゼ				2017	2018	2018	2014	2017	1998 標藤	1978 標藤	2022 潜	1978 標		2023 潜
149	ウロハゼ				2017	2018	2018	2018		2000 標	2015 標	2010 標	2023 採		2023 標

番号	標準和名	環境省 RL	熊本県 RDB	分布に関する情報	河川水辺の国勢調査(文1)による確認					採集, 標本, 文献, 潜水観察, 目撃による確認					
					菊池川水系	白川水系	緑川水系	球磨川水系	筑後川水系	菊池川水系	白川水系	緑川水系	球磨川水系	筑後川水系	その他
150	ツマグロスジハゼ					2018		2018					2023 採		2014 標
151	ヒメハゼ				2017	2018	2008	2018		2000 標	1998 標藤	1996 標藤	2023 採		2023 標
152	ミナミヒメハゼ			南方系. 天草地方のみに分布.											2014 目
153	スミウキゴリ		AN									2010 標			2004 標
154	ウキゴリ				2017	2018	2018	2014		1996 標藤	1977 標	2023 目	1978 標		2023 潜
155	ニクハゼ					2003									
156	ピリンゴ				2017	2013	2018	2018		1977 標	1998 標藤		2023 採		2023 潜
157	チクゼンハゼ	VU	NT							1977 標					1977 標
158	クボハゼ	EN	VU										2009 目		
159	キセルハゼ	EN	VU										2023 標		
160	エドハゼ	VU	VU										2023 採		
161	クロホシマンジュウダイ			南方系.				2004							
162	アイゴ				2001										
163	カムルチー				2017	2018	2018	2014		2021 採	1977 標	2015 潜			2023 標
164	ヒラメ				2017	2018	2018	2014		2000 標		2000 標藤			
165	テンジクガレイ				2001			2018				1999 標藤			
166	イシガレイ							2009							
167	ギマ					2013	2013	1998							2001 標
168	シマフグ				2011		2013			1979 標		1998 標藤			
169	クサフグ									2000 標	2020 標	1998 標藤	1977 標		2001 標
170	トラフグ				2011		2018	2014							

注1) 環境省 RL は「環境省レッドリスト 2020」を、熊本県 RDB は「レッドデータブックくまもと 2019」を表し、表中の略号は以下のカテゴリを表す。EX:絶滅, CR:絶滅危惧 IA 類, EN:絶滅危惧 IB 類, VU:絶滅危惧 II 類, NT:準絶滅危惧, AN:要注目種

注2) 生息確認欄には、最も新しい確認年(河川水辺の国勢調査によるものは確認年度)及び確認方法を示した。確認方法は、著者の採集によるものを「採」、熊本博物館及び熊本県博物館ネットワークセンターが収蔵する標本によるものを「標」、文献によるものを「文」、著者の潜水観察や水中撮影によるものを「潜」、著者の目撃や写真確認によるものを「目」とした。著者の藤井による標本は「標藤」とし、文献によるものには以下の文献番号を添えた。

文 1: 国土交通省. 河川水辺の国勢調査. 河川環境データベース. 国土交通省河川局環境課 (https://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkan_kyo/2023年11月24日確認).

文 2: 和田英敏・松井英司・松井謙弥・本村浩之. 2020. 熊本県菊池川および唐人川から得られたカライワシ仔魚の記録. 熊本野生生物研究会誌 10: 9-12.

文 3: 清水正元. 1984. 澄んだ湖をつくる 阿蘇山麓からの提言. 朝日新聞社, 東京, 236pp.

文 4: 熊本県水産研究センター. 2023. 令和 3 年度事業報告書. アユ資源動向調査(ウナギ資源動向調査). 30-35. 熊本県, 熊本.

文 5: 三宅琢也・中島 淳・鬼倉徳雄・古丸 明・河村 功. 2008. ミトコンドリア DNA と形態から見た九州地方におけるニッポンバラタナゴの分布の現状. 日本水産学会誌 74(6): 1060-1067.

文 6: 中島 淳・水谷 宏・藤井法行. 2012. 熊本県における要注意外来生物カラドジョウの採集記録. ホシザキグリーン財団研究報告 15: 181-183.

文 7: 熊本県. 1978. 第 2 回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(淡水魚類). 環境庁委託調査. 熊本県編集, 熊本, 99pp.

文 8: 熊本県希少野生動物植物検討委員会. 2019. レッドデータブックくまもと 2019-熊本県の絶滅のおそれのある野生動物植物- 熊本県環境生活部自然保護課, 熊本, 632pp.

文 9: 和田英敏・松井英司・松井謙弥・本村浩之. 2022. 熊本県菊池川から得られた絶滅危惧種アリアケシラウオの確かな記録. 熊本野生生物研究会誌 11: 1-4.

文 10: 岩槻幸雄・田中文也・松本宏人・宮崎幹太・関 伸吾・細井栄嗣・川嶋尚正. 2024. 九州におけるイワナの生息実態と過去のイワナ生息の聞き込み調査-九州に自然分布のイワナは本当にいないのか?- Ichthy, Natural History of Fishes of Japan40: 35-42.

文 11: 環境庁. 1987. 第 3 回自然環境保全基礎調査, 河川調査報告書 全国版. 環境庁, 東京.

文 12: 林田 創・藤井法行. 2020. 熊本県緑川水系におけるボウズハゼ *Sicyopterus japonicus* (tanaka,1909)の記録. 熊本野生生物研究会誌 10: 27-28.

文 13: 是枝伶旺・本村浩之. 2021. コガネチワラスボ(新称)とチワラスボ(ハゼ科チワラスボ属)の鹿児島県における分布状況, および両種の標徴の再評価と生態学的新知見. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan10:75-104.

謝辞

本目録を作成するにあたり、平素からご指導を賜ってきた熊本生物研究所代表の入江照雄氏、福岡県在住の中島 淳博士、熊本博物館の清水 稔氏、お世話になってきた調査仲間の熊本県希少野生動植物検討委員会会長の石黒義也氏、前会長の内野明德博士、元検討委員の甲守 崇氏、検討委員の諸氏、調査員の布田欣也氏、永田新悟氏、九州自然環境研究所の中園敏之博士・中園朝子氏、田中英昭氏、上田浩平氏、九州開発エンジニアリングの伊東健二氏、元「原風景」の竹元重博氏、大分県在住の森田祐介氏、その他多くの方々に感謝申し上げます。また、本目録を取りまとめるにあたり、熊本野生生物研究会会長の坂田拓司氏には執筆を薦めていただき、矢加部和幸氏、編集委員の長尾圭祐氏及び会誌査読者のお二人には適切な助言をいただいた。この場を借りて御礼申し上げます。

標本情報の収集では、熊本県博物館ネットワークセンターの中菌洋行氏にも協力いただいた。

図版の写真撮影や同定では、小宮春平氏、佐々木祐一氏、立川淳也氏、中野誠志氏、野中繁孝氏、日比野友亮氏、藤井俊介氏、前田 豪氏、増永憲勝氏、松浦 弘氏、九州環境管理協会の宇野 潔氏、城内智行氏、中武洋佑氏、服部 聡氏、道山晶子氏、吉川さやか氏から助言や協力をいただいた。川や海では釣り人の皆様に魚を撮影させていただいた。深くお礼申し上げます。

参考文献

- 天草高校生物部. 1995. ヨシノボリの生態～その分布と成長について～. 熊本生物 36 : 32-33.
- 道津善衛. 1963. ドウクツミミズハゼについて. 動物学雑誌 72 (1) : 1-5.
- 江口勝久・乾 隆帝・中島 淳・鬼倉徳雄・及川 信. 2008. 九州におけるヒモハゼの分布の現状. 九大農学芸誌 63 (1) : 27-33.
- 藤井法行. 1986. 淡水魚研究の楽しみの一つ 移入魚. 土龍 MOGURA (熊本洞穴研究会) 12 : 16-18.
- 藤井法行. 2000. 荒尾市の淡水魚. 荒尾市史 (環境・民俗編). 177-182. 荒尾市, 荒尾.
- 藤井法行. 2001. 阿蘇の魚類. 一の宮町史 自然と文化 自然と生き物の賛歌 159-175. 一の宮町, 阿蘇.
- 藤井法行. 2003. 宇土市の淡水魚. 新宇土市史「通史編」第1巻. 177-182. 宇土史編纂委員会, 宇土.
- 藤井法行. 2015. 阿蘇のセイジャンババ (1). いちご人 参(10) : 90-102.
- 藤井法行. 2016. 阿蘇のセイジャンババ (2). いちご人 参(11) : 98-107.
- 福原修一. 2000. 貝に卵をうむ魚. トンボ出版, 大阪, 80pp.
- 林田 創・藤井法行. 2020. 熊本県緑川水系におけるボウズハゼ *Sicyopterus japonicus* (tanaka,1909)の記録. 熊本野生生物研究会誌 10 : 27-28.
- 人吉高校生物部. 1997. ブルーギルについて. 熊本生物 38 : 12-14.
- 池松法行. 1978a. 白川の魚類. 生物による水質判定予備調査報告書—白川—. 24-27, 33-34. 熊本県公害部公害規制課, 熊本.
- 池松法行. 1978b. くまもとの淡水魚. 熊本日日新聞連載 全 26 回.
- 池松法行. 1978c. 熊本県産淡水魚類仮目録 (謄写) : 1-10.
- 池松法行. 1979. 緑川の魚類. 生物による水質判定調査報告書—緑川—. 30-33, 40-41. 熊本県公害部公害規制課, 熊本.
- 池松法行. 1980a. 天草・下島の淡水魚. 熊本生物 21 : 43-54.
- 池松法行. 1980b. 菊池川の魚類. 生物による水質判定調査報告書—菊池川—. 36-44, 53-54. 熊本県公害部公害規制課, 熊本.
- 池松法行. 1981a. 阿蘇の魚類. 熊本県立阿蘇農業高等学校研究紀要 : 109-119.
- 池松法行. 1981b. 五木村の動物 (魚類). 川辺川ダム建設に伴う文化財等に関する調査報告書. 32-34. 熊本県球磨郡五木村, 五木.
- 池松法行. 1981c. 球磨川の魚類. 生物による水質判定調査報告書—球磨川—. 41-50, 61-62. 熊本県公害部公害規制課, 熊本.
- 池松法行. 1981d. 熊本県のヨシノボリ. 淡水魚, (7) : 21-25.
- 池松法行. 1982a. 白川の魚類. 生物による水質判定調査報告書—白川—. 37-46, 55-56. 熊本県公害部, 熊本.
- 池松法行. 1982b. 菊池溪谷の魚類. 菊池溪谷の動物. 熊本洞穴研究会 45-52.
- 池松法行. 1982c. 球磨川の淡水魚 (謄写). 1-9.
- 池松法行. 1982d. 熊本県の淡水魚類. 土龍 MOGURA (10) : 40-50.
- 池松法行. 1983. 緑川の魚類. 生物による水質判定調査報告書—緑川—. 30-33, 40-41. 熊本県公害部公害規制課, 熊本.

- 池松法行. 1984. 菊池川の魚類. 生物による水質判定調査報告書—菊池川—. 36-44, 53-54. 熊本県公害部公害規制課, 熊本.
- 池松法行. 1985. 球磨川の魚類. 生物による水質判定調査報告書—球磨川—. 11-12, 41-50. 熊本県公害部公害規制課, 熊本.
- 池松法行. 1986. 白川の魚類. 生物による水質判定調査報告書—白川—. 37-46, 55-56. 熊本県公害部, 熊本.
- 池松法行. 1987a. 五木川の魚類. 五木村学術調査—自然編—. 464-475. 熊本県五木村役場, 熊本.
- 池松法行. 1987b. 緑川の魚類. 生物による水質判定調査報告書—緑川—. 30-38, 45-46. 熊本県公害部公害規制課, 熊本.
- 乾 隆帝・小山彰彦. 2014. 本州・四国・九州の河口干潟に生息するハゼ類. 魚類学雑誌, 61 (2) : 105-109.
- 一森綾子. 1995. 宇土半島メダカ考. 燎火 (4).
- 岩槻幸雄・田中文也・松本宏人・宮崎幹太・関 伸吾・細井栄嗣・川嶋尚正. 2024. 九州におけるイワナの生息実態と過去のイワナ生息の聞き込み調査—九州に自然分布のイワナは本当にいないのか?—. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan40 : 35-42.
- 環境省. 2002. 自然環境保全基礎調査生物多様性調査 動物分布調査報告書 (淡水魚類). 環境省自然環境局生物多様性センター, 山梨, 545pp.
- 環境省. 2010. 淡水魚類. 自然環境保全基礎調査動物分布調査 日本の動物分布図集. 環境省自然環境局生物多様性センター, 山梨, 1070pp.
- 環境庁. 1982. 日本の重要な淡水魚類 (南九州・沖縄版). 第 2 回自然環境保全基礎調査 (緑の国勢調査) 動物分布調査 (淡水魚類) 報告書 (熊本県). 環境庁, 東京, 62pp.
- 環境庁. 1987. 第 3 回自然環境保全基礎調査, 河川調査報告書 九州・沖縄版 (熊本県). 環境庁, 東京, 110pp.
- 環境庁. 1993. 第 4 回自然環境保全基礎調査, 動植物分布調査報告書 (淡水魚類), 環境庁自然保護局, 東京, 409pp.
- Kazuki Kanno・Norio Onikura・Yoshihisa Kurita・Akihiko Koyama・Jun Nakajima. 2018. Morphological, distributional, and genetic characteristics of *Cottus pollux* in the Kyushu Island, Japan : indication of fluvial and amphidromous life histories within a single lineage. Ichthyological Research, 65(4) : 462-470.
- 川那部浩哉・水野信彦編. 1989. 日本の淡水魚. 山と溪谷社, 東京. 719pp.
- 北村淳一・内山りゅう. 2020. 日本のタナゴ 生態・保全・文化と図鑑. 山と溪谷社, 東京, 224pp.
- 国土交通省. 河川水辺の国勢調査. 河川環境データベース. 国土交通省河川局環境課 (https://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/2023年11月24日確認).
- 近藤卓哉・阪田和弘・竹下直彦・中園明信・木村清朗. 1999. 九州の球磨川上流域に移入されたイワナの分布域拡大と繁殖. 魚類学雑誌 46(2) : 121-125.
- 甲守 崇. 1983. 江津湖に生息するタナゴ類について. 熊本生物研究誌 15 : 15-16.
- 甲守 崇. 1984. 江津湖のスナヤツメ *Entosphenus reissneri* について. 熊本生物研究誌 16 : 6-8.
- 甲守 崇. 1986. 江津湖の魚類. 江津湖 (創刊号) : 13-15.
- 甲守 崇. 1987a. 江津湖の帰化魚について. 江津湖(2) : 17-19.
- 甲守 崇. 1987b. 水中の異変 生態系を変える移入魚. 熊本日日新聞連載 (9回).
- 甲守 崇. 1988. 魚の食餌行動と食性(1). 江津湖(3) : 91-93.
- 甲守 崇. 1991. 江津湖に侵入したハス *Opsariichthys uncirostris* (Temminck et Schlegel) について. 江津湖 (5) : 61-63.
- 甲守 崇. 1993. 熊本県の動物 淡水魚類. 熊本博物館 熊本市自然・文化資料V : 72-76.
- 甲守 崇. 1995. 淡水の魚. くまもと自然大百科. 298-307. 熊本日日新聞社, 熊本.
- 甲守 崇・歌岡宏信. 1993a. 泉村の魚類. 泉村の自然. 207-212. 泉村役場, 泉村.
- 甲守 崇・歌岡宏信. 1993b. 泉村の魚類目録. 泉村の自然 (資料編). 49-50. 泉村役場, 泉村.
- 熊本県. 1978. 第 2 回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書 (淡水魚類). 環境庁委託調査. 熊本県編集, 熊本, 99pp.
- 熊本県. 1979. 第 2 回自然環境保全基礎調査 河川調査報告書 (淡水魚類). 環境庁委託調査. 熊本県編集, 熊本, 91pp.
- 熊本県土木部河川港湾局河川課. 2015. 河川表. くまもとの河川と海岸. 熊本県, 熊本.
- 熊本県希少野生動植物検討委員会. 1998. 熊本県の保護上重要な野生動植物—レッドデータブックくまもと—. 熊本県環境生活部自然保護課, 熊本, pp380.
- 熊本県希少野生動植物検討委員会. 2004. 熊本県の保護上重要な野生生物リスト—レッドリストくまもと 2004—. 熊本県環境生活部自然保護課, 熊本, pp67.
- 熊本県希少野生動植物検討委員会. 2009. 改定・熊本県の保護上重要な野生動植物—レッドデータブックくまもと—

- と2009-熊本県環境生活部自然保護課,熊本,pp597.
- 熊本県希少野生動植物検討委員会. 2014. 熊本県の保護上重要な野生生物リスト-レッドリストくまもと2014-熊本県環境生活部環境局自然保護課,熊本,pp135.
- 熊本県希少野生動植物検討委員会. 2019. レッドデータブックくまもと2019-熊本県の絶滅のおそれのある野生動植物-熊本県環境生活部自然保護課,熊本,632pp.
- 熊本県水産研究センター. 2023. 令和3年度事業報告書. アユ資源動向調査(ウナギ資源動向調査). 30-35. 熊本県,熊本.
- 熊本高校生物部. 1989. 江津湖のタナゴを守るII. 熊本生物30:20-25.
- 熊本高校生物部. 1990a. 江津湖におけるタナゴとドブガイの研究報告. 熊本生物8:53-55.
- 熊本高校生物部. 1990b. 江津湖のタナゴの研究報告. 熊本生物31:12-17.
- 熊本西高校生物部. 1993. 熊本市周辺における移入魚と在来種の分布. 熊本生物34:6-11.
- 九州学院高校生物部. 1993. またも自然が沈んでいく〜球磨川上流ダム建設と生物相の調査〜. 熊本生物34:50-53.
- 是枝伶旺・本村浩之.2021.コガネチワラスボ(新称)とチワラスボ(ハゼ科チワラスボ属)の鹿児島県における分布状況,および両種の標徴の再評価と生態学的新知見.Ichthy, Natural History of Fishes of Japan10:75-104.
- 松橋高校生物部. 1960. 不知火海干潟のムツゴロウについて. 熊本生物1:12-14.
- 松橋高校生物部. 1989. 松橋町大野川の水質と生物調査. 熊本生物30:48-53.
- 松橋高校生物部. 1990a. 松橋町大野川水系におけるムツゴロウの生態調査. 熊本生物31:18-22.
- 松橋高校生物部. 1990b. 不知火干拓のムツゴロウの生態干潟の中のこりない生物. 熊本生物8:59-61.
- 松橋高校生物部. 1993. ムツゴロウの生態パートIV〜有明・不知火海における生息分布比較〜. 熊本生物34:44-47.
- 松橋高校生物部. 1994. ムツゴロウの生態パートV. 熊本生物35:35-38.
- 松永喜美子他. 1980. 熊本の食べ物ーより豊かな食生活のためにー.(財)熊本開発研究センター,熊本,266pp.
- 三宅琢也・中島 淳・鬼倉徳雄・古丸 明・河村 功. 2008. ミトコンドリア DNA と形態から見た九州地方におけるニッポンバラタナゴの分布の現状. 日本水産学会誌74(6):1060-1067.
- 水野信彦. 1976. ヨシノボリの研究III四国と九州での4型の分布. 生理生態17:373-381.
- 水岡繁登. 1971. ヨシノボリの変異に関する研究II. 広島大学教育学部紀要3(20):11-16.
- 中坊徹次(編). 2013. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 2430pp.
- 中坊徹次(編・監修)・松沢陽士. 2018. 小学館の図鑑Z 日本魚類館〜精緻な写真と詳しい解説〜. 小学館, 東京, 524pp.
- 中島 淳・内山りゅう. 2017. 日本のドジョウ 形態・生態・文化と図鑑. 山と溪谷社, 東京, 224pp.
- 中島 淳・水谷 宏・藤井法行. 2012. 熊本県における要注意外来生物カラドジョウの採集記録. ホシザキグリーン財団研究報告15:181-183.
- 中島 淳・鬼倉徳雄. 2009. 九州におけるイトヨの記録. ホシザキグリーン財団研究報告12:285-288.
- 南関高校生物部. 1976. 菊池川水系における淡水魚. 熊本生物17:40-42.
- 南関高校生物部. 1977. Tilapia の生態. 熊本生物18:15-20.
- 南関高校生物部. 1979. 荒谷川産タイリクシマドジョウの斑紋の個体変異について. 熊本生物20:24-29.
- 日本魚類学会自然保護委員会(編). 2013. 見えない脅威”国内外来魚”ーどう守る地域の生物多様性ー. 東海大学出版会, 神奈川, 257pp.
- 西岡鉄夫. 1969. 人吉・球磨・五木・五家荘地区の爬虫類, 両生類, 魚類について. 熊本県人吉・球磨・五木・五家荘地区自然公園候補地学術調査報告書. 113-118. 熊本県, 熊本.
- 西岡鉄夫(編著). 1974. 熊本の動物. 熊本日日新聞社, 熊本, 223pp.
- Masumitsu Oshima.1957.List of Freshwater Fishes Obtained in the South-eastern Kiushiu. 魚類学雑誌6(1/2):9-13.
- 大島正満. 1957. 九州に於けるヤマメとアマゴの分布. 動物学雑誌66(1):21-24
- 大津高校生物部. 2001. オヤニラミの研究 その1 地方名について. 熊本生物42:24-29.
- 佐土哲也・松沢陽士. 2011. タナゴハンドブック. 文一総合出版, 東京. 80pp.
- 佐藤正典(編). 2000. 有明海の生きものたちー干潟・河口域の生物多様性. 海游舎, 東京, 396pp.
- 済々矍高校生物部. 1993. ブルーギルの縄張りとし長量との関係について. 熊本生物34:54-58.
- 瀬能 宏(監修). 2004. 決定版日本のハゼ. 平凡社, 東

- 京, 534pp.
- 清水正元. 1984. 澄んだ湖をつくる 阿蘇山麓からの提言. 朝日新聞社, 東京, 236pp.
- 清水 稔. 2017. 江津湖の魚類相～電気ショッカー船調査での確認を中心に～. 熊本博物館館報 29 : 53-64.
- 東稜高校生物部. 1994. 市街化する水系における野生メダカの現状. 熊本生物 35 : 20-22.
- 塚原 博. 1954. ツチフキの産卵習性. 魚類学雑誌 3(3-5) : 139-143.
- 宇土高校生物部. 1974. 天敵魚（カダヤシ）の生態とその利用 第1報. 熊本生物 15 : 36-42.
- 宇土高校生物部. 1975. 天敵魚（カダヤシ）の生態とその利用 第2報. 熊本生物 16 : 9-13.
- 和田英敏・松井英司・松井謙弥・本村浩之. 2020. 熊本県菊池川および唐人川から得られたカライワシ仔魚の記録. 熊本野生生物研究会誌 10 : 9-12.
- 和田英敏・松井英司・松井謙弥・本村浩之. 2022. 熊本県菊池川から得られた絶滅危惧種アリアケシラウオの確かな記録. 熊本野生生物研究会誌 11 : 1-4.
- 吉田隆男・道津喜衛・深川元太郎・宮木廉夫. 2006. 長崎県大村湾産イドミズハゼ O 型, *Luciogobius* sp. の生態, 生活史と飼育. 長崎県生物学会誌 61 : 13-25.
- 吉倉 眞. 1968. 有明海と八代海. *Calanus* (合津臨海実験所報)1 : 18-23.
- 吉倉 眞. 1977. 阿蘇の動物 (脊椎動物). 阿蘇国立公園学術調査報告書熊本県編. 1-35. 国立公園協会, 東京.

受付日 : 2023 年 12 月 28 日 受理日 : 2024 年 2 月 18 日 ※本目録は審査委員二名による査読を実施した.

連絡先 : 藤井法行 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地 1479-5 ☎ckxhs011@ybb.ne.jp
林田 創 〒813-0043 福岡県福岡市東区名島 2-22-30 ☎h.hayashida2018@gmail.com